

国内初！ 農業特化型の生成AIを開発 ―三重県で実証実験開始 将来的には全国規模で農業情報を提供―

- 農業の専門知識を学習させた国内初の生成AIを開発し、三重県でイチゴを対象とした本生成AIの実証実験を開始。

研究機関：農研機構、北海道大学、キーウェアソリューションズ株式会社、三重県農業研究所、株式会社ソフトビル、株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント

農業に関する
大量の知識を
収集し、ファイン
チューニング

生成AIモデルの開発



AIスパコン紫峰
統合データベース
の整備
従来比4倍の
計算性能



フィードバックによる改良

実証実験の第一弾
を開始！



三重県で先行
して試行開始

WAGRIと
チャットツール
FarmBoxとの連携

生成AIモデルの開発と
現地フィードバックによる改良を繰り返し

農業特化型生成AIの開発概要

普及指導員の業務の一部を生成AIで効率化し、
より高度な技術指導の提供に貢献

普及指導員の調査業務を
簡便化し、技術指導者等
普及活動の参考とする



普及指導員



農業用
生成AI



農業知識を
早期に習得し
生産性・収益
を向上



スマート農業や
環境負荷低減に
関する
最新技術の習熟

農業用生成AIの活用例

導入により期待される効果

精度の高い生成AIを活用したサービス提供を全国規模で行うことを通じて、より高度な技術指導や農業情報を受けられる環境整備、ひいては新規就農者の育成など農業の持続的発展に貢献。

連絡先 農研機構基盤技術研究本部 研究推進室

e-mail: www_kiban@ml.affrc.go.jp